

都市計画を取り巻く動向や新総合計画における4つの都市個性等を踏まえて、都市づくりの視点等（案）を以下のとおり整理した。

1. 本市の魅力や強み	対応する視点
(1) 都市機能が集約した市街地	①②
(2) 公共交通を中心とした利便性の高い交通体系	①②
(3) 自然環境と都市機能が調和した都市空間	②③
(4) 防災力の高いまち	④
(5) 学都・仙台としての知的資源の集積	①
(6) 多彩な文化・観光・交流資源	①②③
(7) 市民によるまちづくり活動の展開	①② ③④

2. 本市を取り巻く動向	対応する視点
(1) 人口の動向	①② ③④
(2) 生活環境の動向	②
(3) 財政の動向	—
(4) 都心の動向	①
(5) 災害の発生予測	④

3. 都市計画に関する国の動向	対応する視点
(1) コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進	②
(2) 国際競争力の強化に向けた都市再生の推進	①
(3) 居心地が良く歩きたくなる（ウォークブル）まちづくり	①③
(4) 近未来技術の導入（スマートシティや Society5.0 の取組推進）	①② ③④
(5) 国土強靱化の推進	④
(6) 国際観光の推進	①②
(7) SDGs の取組推進	①② ③④

【新総合計画】 市民協働の理念のもと、4つの都市個性を掛け合わせ、活かし合う、まちづくりの価値観を市民共有のものとし、ともに創意工夫と挑戦を重ね、仙台が仙台らしく輝ける新たな杜の都を目指す

4つの都市個性を活かした新たな杜の都へ

- 恵まれた都市環境のもとで集積された質の高い知的資源
- 学びの機会が身近にあり、学びに積極的な市民性
- 東北の中核を担う都市としての高次な都市機能
- 東北と世界をつなぐ広域交流拠点・経済活動の中心
- これまでの歴史の中で守り、育んできた美しく快適な自然環境と生活環境
- 幾度の大災害から復興を通じて培い、世界に発信してきた防災力・安全なまちづくり
- 社会問題への取り組みを通じて形成された市民の主体的な行動力
- 多様な価値観を尊重し合う市民参画のもと築かれた共生の礎

<都市づくりに関する重点的な取り組みの視点>

- 仙台を磨き伝える
～世界に輝く杜の都の深化と継承～
- 仙台で暮らす
～地域コミュニティの強化～
- 仙台で学ぶ・活かす
～学びの環境づくりとチャレンジ応援～
- 仙台で働く
～働く場所として選ばれる環境づくり～
- 躍動する仙台を創る
～都心再構築と交流都市づくり～

<視点キーワード>

- 【①杜の都】【②防災環境都市】
- 【③脱炭素社会】
- 【④地域コミュニティ】
- 【⑤学都】【⑥働き方】
- 【⑦生産性向上・イノベーション】
- 【⑧交流人口】【⑨東北の中核】
- 【⑩機能集約】【⑪都心活力】
- 【⑫郊外地域】

4. 都市づくりの視点（案）

① 『躍動する都市』
【関連する総合計画視点キーワード：⑤⑦⑧⑨⑩⑪】
 ・東北の中核を担う都市としての高次な都市機能が集積するとともに、東北と世界をつなぐ広域交流拠点（起点）・経済活動の中心となり、東北を力強く牽引する躍動する都市

② 『暮らしやすい都市』
【関連する総合計画視点キーワード：①②④⑥⑩⑫】
 ・豊かな自然環境と都市機能が調和した都市空間を活かし、多様性が活きるまちとして、様々な価値観によるライフスタイルに応じることができる、快適で楽しく暮らしやすい都市

③ 『美しい都市』
【関連する総合計画視点キーワード：①②③⑩】
 ・これまでの歴史の中で守り、育んできた緑を中心として、質が高く、人との関わりによってより魅力的となる景観や、環境負荷の少ない都市空間が形成され、風格と品格のあふれる快適な都市環境を有した美しい都市

④ 『強靱な都市』
【関連する総合計画視点キーワード：②④⑦⑩】
 ・自助・共助・公助が浸透した世界に誇れる防災力を持ち、災害に強い都市構造が構築され、各種都市活動のバックアップ機能を備える強靱な都市

⑤ 『選ばれる都市』
【関連する総合計画視点キーワード：①～⑫】
※上記4つの視点の総合的な取り組みにより目指す視点
 ・国内外から人々が交流を求め集い、多様な主体が協働し、生き生きと活動するとともに、誰もが活躍できる環境があることで、都市としての魅力や活力にあふれ、住む場所や働く場所として選ばれる都市

5. 都市づくりの視点を踏まえた方向性（案）

①魅力・活力のある都心の再構築 **【視点：①⑤】**
 ・東北をグローバルに牽引する都市として成長するため、居心地のよい憩いや交流の場の創出、都心部の回遊性の向上、近未来技術の活用やイノベーションの創出等を通して、躍動する都心としての魅力・活力の向上に資する再構築が必要

②地域の特性を活かした集約型の市街地形成と郊外地域の維持 **【視点：②⑤】**
 ・今後の人口減少・高齢社会においても、持続可能でかつ機能的・効率的な市街地を形成するため、引き続き多様な都市機能を地域特性に応じて適正に配置することが必要
 ・郊外地域においては、暮らしのニーズや周辺環境との調和に配慮しながら都市機能の維持や地域の活性化等が必要

③公共交通を中心とした持続可能な交通体系の更なる充実 **【視点：①②⑤】**
 ・市民の生活を支える移動手段を確保するため、既存ストックを最大限に活用するとともに、地域の実情に応じた交通手段の確保により、公共交通を中心とした交通体系の更なる充実を図ることが必要

④杜の都の継承と安全・安心な都市環境の充実 **【視点：③④⑤】**
 ・生涯を通じて健やかに安全・安心に暮らすことができ、魅力ある杜の都を後世においても継承するため、自然環境を活かした美しく快適な都市空間や、災害に強い都市環境の充実が必要

⑤魅力を生み出す協働まちづくりの推進 **【視点：①～⑤】**
 ・多様な価値観を尊重し合い、地域課題を解決して新たな魅力を生み出すため、市民・事業者・行政等の多様な主体による協働まちづくりの一層の推進が必要